

ホスピタリティー

マナーキッズプロジェクト理事長

田中 日出男さん



おもてなしは礼儀から

「よろしくお願ひします。お辞儀をしてボレーの練習!」。5月上旬、東京都品川区立京陽小学校で開かれた1日限定のテニス教室。小学1年生約70人の元気な声が体育館にこだました。挨拶などを教えているの

は認定NPO法人「マナーキッズプロジェクト」(東京・杉並)だ。田中日出男理事長(73)は「スポーツは礼に始まって礼に終わる。これが最近おさなりになっている」。テニス教室では礼儀作法に詳しい専門家を招いて指導することも

あるという。テニス教室を始めるきっかけは1996年。三菱化学で人事・労務部門を担当し、挨拶しない従業員に違和感を覚えた。母校の早稲田大学テニス部OBら40人に声をかけて年3回、小学生向けにマナーも教えるテニス教室を始めた。

これまで指導してきた小学生などは11万人。5月中旬にはタイのメディアから取材を受けたという。「礼儀をきちんと身に付けることが外国人への『おもてなし』になる」と信じている。

2003年に三菱化学を退社。05年、日本テニス協会のメンバーとしてマナーも教えるテニス教室に本格的に取り組み始める。07年「マナーキッズプロジェクト」を立ち上げた。